

平成 19 年 8 月 31 日

## 県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では足踏みが続いている。

生産活動は、電子部品関連が回復しつつあるが、飲食料品は伸び悩んでいる。個人消費関連は、百貨店売上げやスーパー売上げ、新車販売ともに盛り上がりを欠く。投資関連では、公共工事は低調なものの、民間建築工事、住宅着工は堅調。その間、観光入り込み客数は前年を上回った。

### 【生産活動】 ... 一進一退

**電子部品**関連は、IC 生産が改善しており、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）もますます。一方、カラーLCD（液晶ディスプレイ）は国内外での受注競争激化により伸び悩んでいる。

7月の**生コン**生産は、5か月連続で前年を下回った。

7月の**紙パルプ**生産は、前年並みで推移した。

**木材**関係は、住宅建設向け需要が弱く、低調に推移している。

**大島紬**生産は、減反基調にある。

**焼酎**は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

**かつお節**生産は、原料となる輸入かつおの浜値が依然高値で推移し、生産は抑制基調。

### 【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は高値圏にあるものの、需要の伸び悩みから弱含んでいる。豚肉及びブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給減から強含みとなっている。

### 【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

6月の百貨店売上げは、クリアランスセール開始の前倒しにより、前年比2.3%増と15か月ぶりに前年を上回った。一方、6月のスーパー売上げは、0.4%増で前年並みとなった。7月の大型小売店販売は台風の影響と百貨店の6月のクリアランスセール前倒しの反動などにより、前年を下回った。

7月の乗用車新車販売台数は14.7%減と、18か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は10.2%、小型車が16.8%の各減となった。また、軽自動車も15.9%減と5か月連続の前年割れとなった。

### 【観光関連】 ... 台風の影響で区々

7月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、台風の影響こそみられたものの、全体では前年比1.4%増となった。地区別にみると、霧島地区が前年割れとなったが、鹿児島地区と指宿地区は、前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、欠航の影響から前年割れが続き、減少幅も拡大した。この間の主要観光施設入場者数は、台風時の閉館等が響き、前年を下回った。

### 【投資関連】 ... 民間建築が堅調

7月の公共工事は、件数こそ前年を下回ったものの、請負金額は前年を上回った。民間建築工事は棟数、床面積、工事費ともに前年を上回った。

6月の新設住宅着工戸数は、前年比9.6%増と2か月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、分譲が11.1%減となったものの、持家、貸家が9.1%、17.3%の各増となった。

7月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年並みで推移。

#### 【貿易関連】 ... 輸入が前年を上回る

6月の**輸出額**は、タイヤ・チューブやコンデンサーが前年を上回ったものの、半導体等電子部品や液晶表示板等の科学光学機器が前年を下回ったことから、全体では2.8%減となった。また、**輸入**は原油及び粗油が前年を上回り、穀物及び同調整品もとうもろこしの価格高騰により約2倍となったことから、全体では39.5%増となった。

#### 【雇用情勢】 ... 改善一服

6月の有効求人倍率は0.63倍と前月比0.01ポイント下落し、雇用情勢の改善に一服感がみられる。

#### 【金融情勢】 ... 堅調

**資金需要**は、住宅ローンが堅調に推移している他、企業の設備資金にも底入れ感が窺える。

#### 【企業倒産】 ... 負債額が増加

7月の**企業倒産**は、件数は11件と前年同月(17件)を下回ったものの、負債額は大型倒産の発生により55億5,700万円と前年同月(34億7,300万円)を大幅に上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株鹿兒島地域経済研究所 ( 099-225-7491 )